

恩師からのメッセージ

下妻中学校 齋藤 理恵先生

みなさんおめでとうございます。みなさんと過ごした3年間、全ての思い出が宝物です。「愛され応援される」学年として、どんな時でも全力で一生懸命取り組む姿が本当に素敵でした。これからの人生が幸多き日々でありますように。いつまでもみなさんの味方で応援しています！



東部中学校 澤邊 環先生

中学校で培った友情と学びを胸に、東部魂を掲げ、全力で挑戦し、未来を自分の力で切り拓いていけ！誇り高く歩め。仲間と共に光を灯せ。責任と希望を胸に、励み続けよ、未来へ！



結城南中学校 笠井 明美先生 (前千代川中学校)

「僕たちは、この一年間楽しみにしていた、すべての行事がなくなりました」こんな呼びかけをして卒業していった君たち。修学旅行も、運動会も、部活の大会もすべて中止でした。我々教員も、何とか代わりになるものはないかと模索した一年間でした。忘れることはできません。あの時の悔しさ、虚しさを糧として、自由に行動できるようになった今、様々なことに挑戦し飛躍してってください。幸多き人生を！



1月11日、千代川公民館で「はたちのつどい YELL」が開かれ、令和7年度に二十歳を迎える311人が出席し、会場は華やかな賑わいを見せました。式典では菊池博市長から「これから社会の一員として責任を持ち、自分はどう生きたいかを考え、勇気をもって一歩を踏み出してほしい」とお祝いの言葉が贈られました。中学時代の恩師から寄せられたビデオメッセージも上映され、懐かしい映像に歓声があがりました。市内3校の卒業生などが一堂に会し、色鮮やかな振袖や、スーツで彩られた公民館前広場では、談笑や撮影が絶えませんでした。

また、将来、この「ふるさと下妻」を活躍の舞台として選び、まちを盛り上げていく中心的な存在になつて欲しいという願いから、当日の参加者に下妻産の「にじのきらめき」を特殊精米した金芽米が配布されました。金芽米は胚芽の栄養を残す精米技術で仕上げられた無洗米で、受け取った方からは「ふるさと下妻の味を家で味わいたい」と感想が寄せられました。

はたちのつどい



なかさと ここみ
中里 心美さん

障害のある人が過ごしやすい世の中になりたい



ひやま そら
樋山 蒼空さん

彼女を幸せにしたい



ひらつか さき
平塚 咲希さん

人を笑顔にできる仕事をしたい



かたおか ゆうすけ
片岡 勇佑さん

見本になる大人になる



いのせ みゆみ
猪瀬 未結珠さん

人の成長を支える(そばで見守る)存在になる



くりはら けいすけ
栗原 啓輔さん

人を笑顔にできる仕事に就く



さいとう あいみ
齊藤 愛美さん

人の手助けができる人になる



つかだ ちせい
塚田 智成さん

周りに感謝できる大人になる



たたべ さやか
田々辺 清楓さん

人の夢を支える仕事ができる人になる

将来の夢をお聞きました

はたちの誓い

... 下妻中
... 東部中
... 千代川中